

2020 年 3 月期決算について

株式会社ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長 高橋 宏輔)は、本日 5 月 27 日(水)、2020 年 3 月期の決算を取りまとめました。詳細につきましては別紙「2020 年 3 月期決算短信」をご参照ください。

1. 2020 年 3 月期の業績

(1) 概況

当事業年度における我が国経済は、雇用・所得環境の着実な改善や企業収益の高水準での底堅い推移等により、景気は緩やかに回復していましたが、年度末での新型コロナウイルス感染症の影響(以下、コロナ影響)により大幅に下押しされる厳しい状況になりました。今後も引き続きコロナ影響により我が国の景気が下押しされるリスクに留意する必要があります。

このような環境において当社は、「2017~2020 年度中期経営戦略」で掲げた目標を達成するため、安全運航を堅持しつつ、持続的な収益力の確保と更なる成長に繋がる取り組みを続けています。2019 年 5 月 29 日には、国内外における LCC のネットワーク拡大や空港機能強化等による競争環境の変化に対応しつつ、中長期的な成長を実現するために、事業戦略(路便計画、機材計画)の見直しを公表しました。

営業面においては、九州おトク旅! キャンペーンやプラチナスポンサーを務めた『2019 ISA ワールドサーフィンゲームス』開催を記念した宮崎「いい波!」キャンペーン等の各種キャンペーンの展開、電力インフラを観光資源としたインフラツーリズム推進への参画による旅行商品の造成等、「九州・沖縄」にこだわった施策に取り組みました。

また、3 月 29 日(2020 年サマーダイヤ)から福岡ー沖縄(那覇)1 往復、名古屋(中部)ー宮崎 2 往復を開設、東京(羽田)ー宮崎 1 往復を増便し、ネットワークの拡充を図ると共に、東京(羽田)ー沖縄(那覇)の深夜早朝臨時便、熊本・鹿児島・沖縄(那覇)ー台北(桃園)間の国際線チャーター便も実施しました。

サービス面においては、オリジナルコーヒー“スマイルブレンド”へのリニューアルをはじめとしたソラシドエアらしさにこだわった機内ドリンクの提供および機内エンターテインメントサービス「ソラタイム」の充実等により、機内サービスの向上を図りました。

(2) 業績状況

当事業年度の業績は、営業収入が 41,850 百万円(前事業年度比 0.2%減)となりました。事業費は、35,845 百万円(同 3.9%増)、販売費及び一般管理費は 4,579 百万円(同 6.0%増)となり、この結果、営業利益は 1,425 百万円(同 55.2%減)となりました。

営業外収益 18 百万円及び営業外費用 138 百万円を加減した経常利益 1,306 百万円(前事業年度比 58.6%減)は、前事業年度に比べ 1,854 百万円減少しました。税引前当期純利益は 1,306 百万円(同 58.6%減)、当期純利益は 990 百万円(同 53.2%減)となりました。

【営業業績】	2020年3月期	2019年3月期	増減	前年同期増減比
営業収入 (百万円)	41,850	41,973	△123	△0.2
営業費用 (百万円)	40,425	38,788	1,636	4.2
営業利益 (百万円)	1,425	3,185	△1,760	△55.2
営業利益率 (%)	3.4	7.5	△4.1	-
経常利益 (百万円)	1,306	3,160	△1,854	△58.6
当期純利益 (百万円)	990	2,118	△1,127	△53.2

注) 配当については見送りを予定しております。

(3) 財政状況

【財務状況】	2020年3月期	2019年3月期	増減
総資産 (百万円)	31,623	30,471	1,152
純資産 (百万円)	11,831	12,022	△191
1株当たり純資産額 (円)	55,658.84	56,558.40	△899.56
自己資本比率 (%)	37.4	39.4	△2.0

(4) 運航実績・輸送実績

運航面においては、就航率は機材不具合に伴う機材繰り等による欠航の減少により 98.8% (前年同期 98.6%)、定時出発率は羽田・那覇両空港の空港混雑による遅延の減少及び社内での定時性向上を目的とした取り組み等により 91.7% (前年同期 87.2%) と前年同期を上回りました。

【運航実績】	2020年3月期	2019年3月期	増減
運航便数 (便)	27,071	25,567	1,504
欠航便数 (便)	337	374	△37
就航率 (%)	98.8	98.6	0.2
定時出発率 (%)	91.7	87.2	4.5

輸送実績は、2018年ウインターダイヤからのネットワーク拡大に伴い、提供座席数は 2,802,844 席 (前年同期比 3.4% 増) となりましたが、コロナ影響による 2 月末からの大幅な需要減少により有償旅客数は 1,796,046 人 (同 5.0% 減)、有償座席利用率は 64.0% (前年同期 70.0%) となりました。

【輸送実績】 *コードシェア販売分を除く	2020年3月期	2019年3月期	増減
有償旅客数 (人)	1,796,046	1,892,178	△96,132
提供座席キロ (千席・キロ)	2,946,491	2,844,519	101,972
有償旅客キロ (千人・キロ)	1,884,740	1,990,047	△105,307
有償座席利用率 (%)	64.0	70.0	△6.0



2. 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症拡大による業績の見通しは不透明であり、現時点での収支の予想は非常に困難であることから、予想値の公表を見送ることとしました。業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

以上



<参考資料>

(数値は全て%)

路線別輸送実績 *コードシェア販売分を除く		有償座席利用率 (前事業年度値)	提供座席数 前事業年度増減比	有償旅客数 前事業年度増減比
東京	－ 宮 崎	60.7 (64.6)	0.8	△5.2
	－ 熊 本	65.8 (75.8)	1.8	△11.7
	－ 長 崎	65.9 (75.6)	△0.3	△13.1
	－ 鹿児島	65.8 (68.0)	0.6	△2.6
	－ 大 分	59.5 (62.6)	0.3	△4.6
	－ 沖 縄	45.2 (-)	-	-
	小 計	63.4 (69.3)	1.3	△7.1
沖縄	－ 宮 崎	62.4 (80.1)	23.6	△3.7
	－ 鹿児島	76.0 (83.4)	5.9	△3.5
	－ 神 戸	70.8 (76.9)	3.9	△4.4
	－ 名古屋	57.2 (60.8)	39.6	31.4
	－ 石 垣	80.2 (68.7)	1.5	18.5
	小 計	68.6 (75.3)	10.4	2.3
名古屋	－ 宮 崎	50.6 (-)	-	-
	－ 鹿児島	56.6 (68.1)	132.3	93.2
	小 計	50.6 (68.1)	134.5	94.8
福岡	－ 沖 縄	41.8 (-)	-	-
全路線合計		64.0 (70.0)	3.4	△5.1

